

橋下市政を検証する8・27集会

八月二七日、エルおおさかにて「橋下市政を検証する8・27市民集会」

が「大阪府・大阪市の労働と人権問題を考えるネットワーク」の主催により開催されました。

集会は大野ひろ子さん（南大阪平和人権連帯会議）の総合司会で進められ、主催団体共同代表の丹羽雅雄さん（弁護士）のあいさつに引き続いてメインの問題提起に入りました。

真逆のソウル市政

赤字も減少

問題提起の一つめは、金光男さん（在日韓国研究所）による「橋下市制と真逆の韓国ソウル市・朴元淳市長」でした。朴元淳市長は橋下市長とほぼ同時期に市長に就任し、弁護士出身であり、また既成政党に対する市民の不満を吸収する形で市長になった点においても橋下市長と共通した背景を持っています。しかしながら橋下市長が六労組に

市庁舎からの退去を求め労働組合を弾圧し、ごみ収集・焼却、下水道、港湾三事業の現業公務員の非公務員化を進め、公務員は市民に命令する立場にあると強調しているのに相反し、朴市長は労働補佐官の新設、労組への事務室便宜供与など円満な労使関係を目指し、団体交渉と協約締結を重視しました法外労組に対しては協議・合意文作成にあたっては、非正規公務員の正規職転換

を推し進め、福祉や教育、交通機関などさまざまな公共サービスを充実させています。これらの施策の実現には現場とのコミュニケーション、市民中心のあり方が徹底されています。こうした公共事業の充実ぶりにもかかわらず、より財政難になったかというところではなくむしろ赤字は減少傾向にあるとのことでした。

橋下のお手本・

ウイスコンシン州

労働運動が再生

次に喜田幡佳秀さん
(ATTAC関西)より、
「橋下市制と酷似の米国・
ウイスコンシン州」と題
した問題提起がなされま
した。橋下知事がスコッ
ト・ウォーカー知事を手
本にしたと言われるとお
り、ウイスコンシン州の
状況は大阪と酷似してい
ます。ウォーカー知事は、
公務員を攻撃し、「働く
権利法」という名の法律
によって労組の活動を規
制し、教育を破壊し、
「財政再建」をテコとし
た反動的政策を推し進め

ています。知事の進める

「都市(州)間競争」が、
橋下市長の「大阪都」構
想の源流にあると言われ
ています。

二〇一一年二月公務員
の団体交渉権剥奪を狙う
「財政再建法」をめぐつ
て、連日のデモが闘われ
公務員の闘いへの広範な
支持がなされました。そ
こから州議事堂占拠、リ
コール運動へと広がりそ
の後のオキュパイ運動へ
と続いています。地域社
会のさまざまな問題と結
合しながら、労働運動の
再生が始まっています。
州議事堂での昼休み集会
は、警察の弾圧を受けな
がら現在も続いています。

重要な堺市議会

堺市長選も大きな山

また奥野正美さん(みら
い市議団代表)より問題
提起がありました。この
間の「教育基本条例」
「職員基本条例」の制定、
また橋下市長が掲げてい
る「行革プラン」のもと
での公共事業の民営化、
社会的弱者の切り捨ての
動きに触れ、橋下市長・
日本維新の会が大阪都構
想に向けての攻勢をかけ
ようとしている九月市議
会の課題、そして堺市長
選が大きな位置を持って
いる等、述べられました。

四人のアピール

「慰安婦」問題をめぐ
る橋下市長発言問題、朝
鮮学校に対する補助金打
ち切り・無償化からの除
外の問題、入れ墨調査処
分の問題、認知症、高齢
者医療・介護の複合施設
である大阪市立弘済院の
民間売却がなされようと
している問題について、
それぞれ取り組みを続け
ておられる四名の方から
アピールがありました。
韓国とウイスコンシン
の状況はまったく逆です
が、朴市長を誕生させる
までの闘い、ウォーカー
知事をリコールしそして
再選されてしまった後も

続いている闘い……いずれにも闘う労働者の姿が見えました。アピールで提起された事柄をはじめ橋下市政の問題点は枚挙に暇がありませんが、決してあきらめてはならない、今こそ声を上げなければならぬ、そのようにあらためて感じた集会でした。

NPOみなど

合同ケアセンター

H Y



関西大弾圧に反撃!

「自由を取り戻す9・1全国集会」に七百人が参加

大雨やったけど。

関電前ころび公妨無罪

反原発や放射能ガレキ焼却反対運動等に対する昨年来の弾圧に、熱く粘り強い反撃が行われてきました。その大きな成果が、八月二六日、Aさんに対する無罪判決です。

毎週金曜日の関電前抗議行動は原発震災の直後

から始まりました。昨年十月五日、大阪府警はこの市民の自主的行動に介入し、Aさんを意識的にトラブルに巻き込んで二人の警察官がころび「被

害」を捏造してAさんを加害者として逮捕。Aさんは長期勾留され懲役二年半を求刑されました。

日本の刑事裁判は起訴されたら九七%が有罪という現状の中、無罪は警察権力との力勝負でかちとった見事な勝利でした。

集会と府警弾劾のデモ

一連の弾圧に対する大きな反撃の第三弾目として「自由を取り戻す9・1全国集会」が開催されました。大雨の中、エルおおさか大ホールに七百

人が結集。幸い、デモ出発前に雨はあがり、大阪府警めざしてチョー長いデモをやり抜きました。

控訴弾劾! 闘いは続く

九月三日からガレキ焼却説明会抗議弾圧(被告三人―一名勾留中)の裁判が始まり、十月にはAさん逮捕に抗議したMさんの裁判も開始。六日検察はAさんを控訴。福岡・東京でも弾圧が拡大しています。共に闘おう!

N支部 O H

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!